

東京都教育委員会 教育目標
福生市教育委員会 教育目標

目指す学校像

- 安心・安全・快適な学校
- 所属職員が研鑽し合う学校
- コミュニティ・スクールとして、保護者・地域と連携協力する学校
- 伝統文化を大切にし、郷土愛を深める学校

教育目標

人権尊重の精神を基調とした明るく平和な社会の形成者として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指すとともに、「生きる力」を育む。その実現のために、次のような児童像を設定する。

- ◎ よく考え、やりぬく子 「確かな学力、粘り強く学びに向かう力」 【問題解決能力】
- 思いやりのある 心豊かな子 「自己肯定感」 【人間関係形成力】
- 進んで体をきたえ 健康な子 「主体性、基礎身体能力」 【実践力】

目指す教師像

- 子供の気持ちに寄り添う教師
- チームとして対応・情報共有できる教師
- 指導力向上に努め、常に授業改善に取り組む教師
- 全体最適の視点で思考し、行動できる教師

子供も教師も自分らしく輝く学校

教育活動スローガン

学校大好き 友達大好き 先生大好き

ぐんぐん学び

- ①ユニバーサルデザインに基づいた学習環境の整備、学習指導を展開し、全ての児童に分かりやすい授業を提供します。
- ②全校で詩の暗唱を推進し、表現力や感性を育て、語彙を増やしたり、覚えられたことに対する達成感を味わわせたりして、自己肯定感と学びへの意欲を高めます。
- ③「スタートカリキュラム」の実施、「ふっさっ子スタンダード」の活用や幼保小連携の教育活動の機会を通し、1年生の小学校生活への円滑なスタートと学びの連続性を図ります。
- ④学びの大切さを実感させ、授業規律の確立を図ります。
- ⑤達成感や充実感もてる授業を推進し、学習内容の確実な定着及び粘り強く真剣に学習に取り組む児童の育成を図ります。
- ⑥やまなみ教室と円滑な連携を図り、個別対応を充実させます。
- ⑦学年×10分以上の家庭学習の習慣化を図ります。
- ⑧福生一中校区の小中学校と連携し、9年間を見通した小中一貫・連携教育の充実を図ります。
- ⑨ICT機器の活用、朝学習や放課後学習教室、習熟度別少数数指導等の充実、学校支援組織による地域ボランティアの活用など、指導の個別化や学習の個性化を図り、個別最適な学びを推進します。

わくわくふれあい

- ①あいさつと笑顔があふれる学校にします。
- ②児童に寄り添い、児童にとって居心地の良い学校であることを目指し、細やかな児童理解に努めます。
- ③各学期初めに行う「いじめ防止授業」など、いじめは未然防止・早期発見・早期対応を常とします。偏見・差別をなくし、互いに相手を認め大切にする心を育成します。
- ④「人権教育プログラム」を活用し、教育活動全体を通して、望ましい人権感覚・道徳的実践力を育みます。
- ⑤コミュニティ・スクールや学校支援地域組織を生かして、保護者・地域の人材を活用した活動を取り入れ、教育活動の充実を図ります。
- ⑥協働的な学びでは、児童同士の学び合いや意見交流を実施し、学びを広げ深める授業改善に努めます。
- ⑦豊かな人間関係と主体的な態度を育成するために、縦割り班活動、学級活動、集会活動やクラブ・委員会活動等の推進を図ります。
- ⑧「ふるさと福生への愛着と誇りを培う学校」を推進し、和太鼓・藍染・茶道体験等の伝統文化・日本文化への理解を深めるとともに、三小の伝統の継承や探究的な地域学習、地域との交流を通して、郷土愛や愛校心を醸成します。

生き生き元気

- ①体育の授業においては十分な運動時間を確保し、基礎体力の向上を目指します。
- ②持久走大会や長縄週間など、年間を通じて体育的活動の充実を図ります。
- ③あいさつ運動や詩の暗唱・読書など、継続して取り組む活動を工夫し、児童の主体性とやりぬく力を育てます。
- ④不登校は未然防止を第一とします。不登校児童へはきめ細やかなスモールステップの対応と、家庭、関係機関との密な連携で、早期学校復帰を目指します。
- ⑤『はみがきタイム』を給食指導内に設け、歯みがきの正しい知識と習慣を身に付けさせます。
- ⑥自身の健康に対する意識を高め、毎日を健康に過ごせる実践力を伸ばします。
- ⑦子供の命を守る生活安全・交通安全・災害安全等の安全教育の充実を図ります。
- ⑧児童虐待の早期発見・相談・通報に努めます。
- ⑨児童が主体となる学級活動や児童会活動を推進します。
- ⑩特別活動の全体計画に基づき、学校のあらゆる教育活動を通じて、児童の自主的な活動を支援し、互いに協力し、より良い学校生活を築こうとする態度を育成します。